

令和5年9月第5回松阪市議会定例会

請願文書表

受理番号	請願第4号
受理年月日	令和5年8月31日
件名	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる 制度の拡充を求める請願
請願者の 住所及び 氏名	松阪市嬉野町1430番地 松阪市PTA連合会 会長 鈴木 寛子 松阪市殿町1508番地1 松阪市小中学校長会 会長 青木 俊幸 松阪市大石町64番地1 松阪市幼稚園・こども園長会 会長 坪内 弘明 松阪市垣鼻町1528番地4 三重県教職員組合松阪支部 支部長 山際 健太郎
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	東村 佳子 吉川 篤博 橘 大介 楠谷さゆり 中島 清晴

子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充
を求める請願

提出 令和5年 8月 31日

松阪市議会議長 坂口 秀夫 様

紹介議員

吉川 篤博
橘 大介
中島 清晴
楠谷 エゆり
東村 佳子

提出者

三重県松阪市嬉野町1430
松阪市PTA連合会

会長 鈴木 寛子



三重県松阪市殿町1508-1
松阪市小中学校長会

会長 青木 俊幸



三重県松阪市大石町64-1
松阪市幼稚園・こども園長会

会長 坪内 弘明



三重県松阪市垣鼻町1528-4
三重県教職員組合松阪支部

支部長 山際 健太郎



請願の趣旨

子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度が拡充するよう採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

現在の「第二期三重県子どもの貧困対策計画」の基本理念には、「生まれ育った家庭の経済状況にかかわらず、三重の子どもが、必要に応じた教育支援、生活支援、親への就労支援等によって、夢と希望を持って健やかに成長できる環境整備が図られている状況をめざす」と示されています。支援を必要とする子どもたちに対して、相談体制などを充実させる取組や、学校だけでは解決が困難な事案について関係機関と連携した支援を行うなどの取組が今以上に進められていく必要があり、貧困の連鎖を断ち切るための教育にかかわる公的な支援が、極めて重要であり、就学・修学保障制度のさらなる拡充が必要と考えます。

厚生労働省の「国民生活基礎調査（2022）」によると、「子どもの貧困率」は11.5%、およそ子ども9人に1人の割合で貧困状態にあるとされています。また、大人が1人の世帯の相対的貧困率は44.5%であり、大人が2人以上いる世帯の相対的貧困率8.6%を大きく上回り、より厳しい経済状況であることが明らかになっています。

また、総務省発表による消費者物価指数における前年同月比は依然として、3%を超える上昇が見られており、家計への負担増大が続いています。

今年度、三重県においては、県独自の支援として国の高校生等奨学給付金制度における給付額に上乘せする補正予算が組まれました。国によるこの制度の給付額が不十分であることは明確で、ほかにも第1子と第2子以降とで給付額に差があることなどの課題があります。経済格差を教育格差に結びつけないために制度・施策のより一層の充実が求められます。

国により、今後進められようとしている児童手当の充実等の子ども関連施策についてもさらなる充実と、国による財源の十分な確保が求められます。そして全ての子どもたちにとってよりよいものとなることが望まれます。

以上のような理由から、全ての子どもたちの学ぶ機会を保障するため、子どもの貧困対策の推進と就学・修学保障制度の拡充を強く切望するものです。